

<h1>上小っ子</h1>	<h2>NO.3</h2> <p>上野原市立上野原小学校 発行日：平成 28 年 6 月 24 日 発行者：校長 中込 一雄 TEL：62-3104</p> 
---------------	--

確かな学力を身につけるために ～授業改善プラン実践事業推進指定校3年目～

本校は、一昨年度から3年間にわたり、県の「授業改善プラン実践事業」推進校の指定を受けています。これは、国や県で行っている各種学力調査等の結果を分析し、本校の課題に合わせた授業改善プランを作成し、実践する中で、地域に広めるといふ実践研究の指定です。本校は、特に、算数科と理科における授業改善プランの実践研究を行っていますが、今年度は3年目を迎え、研究指定の最終年度となります。過去2年間の研究で、児童の実態に関わるもの、指導の統一に関わるもの、家庭との連携に関わるものなど、多くの成果と課題が明らかになってきました。今年度は、2年間の研究を踏襲しつつ、さらに焦点化されてきた課題をクリアすべく研究を進めていきます。以下、研究内容の概略です。

算数・理科共通

- 「数・式・図」と「言葉」をつなぎ、過不足なく表現させる
- ・1単元1時間は、じっくり考えたり表現したりする学習指導を行う。
- ・重要語句やよりよい記述につながる表現をカード化して目に触れるようにする。
- ・読み取ったこととの関連づけや、表現の仕方など、教師がゴールとしたいものを明確にし、言葉のぶれ、評価のぶれをなくしていく。

算数

- 思考の道具として数直線を扱えるようにする
- ・数直線を読む、書く、思考のツールとして活用するという3段階を6年間で系統立てて指導する。
- ・そのために、教科書で数直線や関連する図が出てきたら、必ずふれる。
- ・数直線の指導のぶれをなくす。

理科

- 型を教える
- ・結果の整理（横の考察）と個人内の考察（縦の考察）の2段階で考えさせる。
- ・学年に応じた書き方の型を示し、系統立てて指導する。
- 8つの過程を「見える化」する
- ・プレート等を使い、8つの過程を子供に示す。
- ☆8つの過程。
①自然の事物・現象への働きかけ ②問題の把握・設定 ③予想・仮説 ④検証計画の立案 ⑤観察・実験 ⑥結果の整理 ⑦考察 ⑧結論

また、授業を支える取組として「朝学」「授業規律」「学級作り」「放課後チャレンジ」「読書」「家庭学習」などの内容や取組方についても研究を進めます。研究の成果については、6月（2年算数、4年算数、6年理科）と11月（1年算数、3年算数、5年理科）の2回、公開研究会を行い提案していく予定です。

人権教室開催

5月24日に3、4年生を対象に「人権教室」が行われました。当日は、甲府地方法務局大月支局長様を始め、市福祉課の皆様、人権擁護委員の皆様が来てくださり、「人権の花」の贈呈が行われました。また、東北をおそった津波で多くの命が奪われた大川小学校を題材にした「ひまわりのおか」というお話の朗読劇もしていただきました。この朗読劇を通して命の大切さを学ぶことができました。朗読劇の後、校庭に出て、思いやり溢れる社会になることを願って、メッセージと花の種を添えた風船を飛ばしました。色とりどりの風船が青空に向かって飛んでいく光景は子供たちの目に焼き付いたのではないのでしょうか。そして、「人権」のことを心に刻む力になってくれたと思います。

後日、風船を拾ったという電話やお手紙が続々と届きました。子供たちが書いたメッセージを読んで喜ばれた方、花の種を手にして育てる方など、様々な反響がありました。子供たちの手から放たれた風船が人権の輪を広げてくれたのではないのでしょうか。



3、4年生の児童の手から一斉に放たれた色とりどりの風船

風船を拾った方々からいただいた各地からの連絡

- こんにちは！瑠美菜ちゃんからの風船が我が家の畑にありました。5月25日の午前11時頃に見つけました。昨日風が強かったので遠いところまで飛んできたのでしょうか？メッセージのような仲良く平和な社会と学校の皆さんの健やかな成長を願っております。（杉本瑠美菜さんの風船を拾った埼玉県坂戸市 磯田やい子様から）
- 玄関に何か落ちていたので拾ってみると壊れた風船に上野原小学校の市川蔵馬さんの書かれた手紙がついておりました。このようなことはめったにないので失礼とは存じましたが手紙を書いた次第です。（中略）山梨には大学時代の友人がおりますので良く遊びに行ったものです。草花の種子は早速まくことにいたします。無事に育つと良いと思います。（茨城県稲敷市 木村謙一様から）
- 今日5月26日午後、畑でこのお花の種とメッセージを見つけました。ずいぶん遠いところから飛んできたのでびっくりしました。明日、お花の種をまいてきれいに咲くのを楽しみにします。熊本の1日も早い復興を願っています。暑いけど勉強、運動がんばってください。（白鳥優杏さんの風船を拾った千葉県野田市 山崎和子様から）
- そのほか、水越偉天君の風船を拾った茨城県稲敷市の村野光男様、落合絆聖君の風船を拾った茨城県牛久市の横田様、高橋竜司君の風船を拾った茨城県行方市の新橋康成様からも連絡をいただきました。

日	曜日	7月の主な予定
1	金	安全点検 4年授業参観・学級懇談 6年裏山観察
2	土	
3	日	
4	月	2年授業参観・学級懇談
5	火	短縮4 読み聞かせ 6年裏山観察予備日 北教研
6	水	1年授業参観・学級懇談 3年パソコン指導
7	木	6年授業参観・ネット講習会・学級懇談
8	金	5年授業参観・学級懇談
9	土	
10	日	
11	月	135年図書返却
12	火	5校時日課 1年生き物ふれあい教室 246図書返却
13	水	集団下校 縄跳び集会 135年図書貸出日
14	木	5校時日課縄跳び集会4年パソコン指導246年図書貸出日
15	金	
16	土	非行防止市民大会
17	日	
18	月	海の日
19	火	
20	水	終業式 4校時日課 給食最終日
21	木	夏季休業日(～8/24) 水泳教室
22	金	水泳教室
23	土	
24	日	
25	月	水泳教室
26	火	プール開設日
27	水	プール開設日
28	木	プール開設日
29	金	プール開設日
30	土	
31	日	

動物ふれあい教室 ～命の大切さを学ぶ～

2年生は毎年帝京科学大学の協力で動物ふれあい教室を実施しています。先日、帝京科学大学の学生さんにモルモットとハムスターのことについて教えてもらいました。一人ひとりが実際に触ってみたい抱っこしたりしました。みんなははじめのうちは緊張気味でしたが、慣れてくるとニコニコしながら頭をなでていました。また、しばらく動物を預かり、お世話もしました。みんなで、餌や水をあげたり、おしっこやうんちの片づけをしたりしました。観察日記もつけました。どの子も一生懸命お世話をすることができたようです。命の大切さや世話をすることの大変さを学ぶよい機会になったと思います。



5年生八重山学習スタート

5年生は総合的な学習の時間で八重山について学びます。まず、八重山の概略についてパソコンの画像を見ながら事前学習しました。水越八重様から寄贈されたこと、広さが東京ドーム6個分あること、各季節の動植物の様子などについて学びました。そして、5月23日には、実際に八重山に行ってお話をいただき、その後、八重山をフィールドにした自然観察オリエンテーリングをしました。クラス毎に3つのコースを歩き、グループで途中にある問題を解きながら登りました。問題には事前学習で学んだ内容も盛り込みました。今後、外部講師を招いた観察会等も行い、各自が決めたテーマの元、調べ学習をしていきます。

今回の活動は5年生でしたが、1年生から6年生までの八重山や学校裏の山をフィールドにした体験活動を系統的に整理し、6年間の見通しを持ったカリキュラムを検討していきたいと思います。八重山の自然だけでなく、水越八重さんの遺徳などについても総合的・系統的に学ぶ「八重山プログラム」として、まとめたいて考えています。



裏山探検

1年生は帝京科学大学のサークル「ココペリ」の学生さんの全面的な協力で学級毎に裏山探検を3日間実施しました。各グループに学生さんが付き、チェックポイントで自然に関する様々なミッションが出されます。ミッションをクリアすると、シールがもらえ、すべてのシールを合わせると一つの絵になるといった活動でした。ミッションには「草笛をふけ」「おいのする葉っぱをさがせ」「鳥の鳴き声をきけ」といった五感をフルに使う内容でした。自然の中で活動する楽しさを味わうと同時に自然の見方や感じ方についても学べたと思います。今回の活動は、入学から卒業まで本校で行われる様々な自然体験や環境教育の入り口になりました。



校長室の窓



先日、秩父神社に行く機会がありました。そこに、大変興味深い言葉が書かれていました。子供の成長に応じて大人としての接し方について、的確に表現しているなど感心してしまいました。成長するに従い、接し方は異なってきますが、子供に対する愛情の普遍性についても表現しているように思えます。私たちが476名の大切なお子さんを預かる者として、たっぷりの愛情を注いでいきたいと思えます。

赤子には肌を離すな
幼児には手を離すな
子供には眼を離すな
若者には心を離すな